

竹原管内景況調査

3月の景況DIは、製造業は悪化、非製造業は横ばい

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和5年3月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

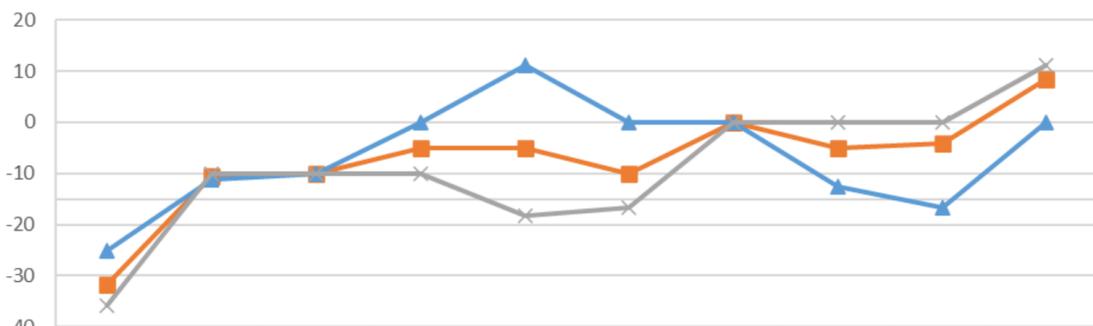
調査概要
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和5年3月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	13	6
建設	5	4
小売	12	8
サービス	17	6
合計	47	24

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9	R4.12	R5.3	R5.4~6
全体	-31.8	-10.6	-10	-5	-5	-10	0	-5	-4.2	8.3
製造	-25	-11.1	-10	0	11.1	0	0	-12.5	-16.6	0
非製造	-35.7	-10	-10	-10	-18.2	-16.7	0	0	0	11.1

3月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は4.1ポイント悪化し、非製造業は横ばいでした。
3月と比べて4月～6月までの見通しは、全体では、12.5ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

《製造業》

- ・国内需要が上昇傾向。(酒造)
- ・各種商品の値上げが進んだこともあり、消費者の節約志向が一段と強まり、厳しい環境ではあるが、昨年は、一昨年までの新型コロナ影響に伴う内食需要の反動減を受けていたこと、11月に2度目の価格改定と新たな需要喚起策を進めたこともあり、売上は回復傾向。一方、原資材価格などの上昇が引き続き見込まれるため。(食品)
- ・コロナの影響によるものが続いている。また、材料などの価格が上昇している。(機械)

《非製造業》

◇建設業

- ・県の受注額が増加。(建築工事)

◇小売業

- ・お客が激減のため。(民芸品)
- ・コロナの影響が少なくなってきた。(写真)
- ・店舗改装に伴う客数増加。(酒)
- ・食費の値上げにより、他商品の買い控えや自粛。(衣料品)
- ・競合店へ移転のため。(食品)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)